

平成31年度

# 静岡県保育連合会総会 並びに 保育所長研修会 開催

期日 平成三十一年四月二十六日  
会場 静岡市民文化会館

平成三十一年度静岡県保育連合会総会は、静岡県健康福祉部理事の長田雅孝様、静岡県社会福祉協議会常務理事の松浦康夫様、静岡県健康福祉部こども未来局こども未来課長山本智ひろ様のご来賓の皆様をお迎えして、静岡市民文化会館において開催されました。

最初に本年度より静岡県保育連合会会長に就任しました土山雅之会長より「保育の無償化、保育指針の改正、社会福祉法人法の改正



など、保育を取り巻く環境が大きく変わる中、私たち保育所、認定こども園は地域で最も身近な子育て支援の拠点として、より質の高い保育を実現し、こども

の育ちを保証し、地域の子育て文化を育み、地域を元気にしていく積極的な取り組みが必要となってきています。その中で県保連としては、制度改革や運営について、また保育の質の向上について、といった側面から、県内

の保育所、認定こども園に通うすべての子どものため、そこに働くすべての職員のため、会員の皆さまと一緒に頑張って少しく良い方に向けて行けるように最大限の努力をさせていただきます。」と力強く挨拶されました。その後、長田理事、松浦常務理事からもお祝いのお言葉をいただきました。

次に総会に移り、議長に静岡市沼上こども園森下健二園長、副議長に浜松市立可美保育園森川好美園長を選出し、議事に入りました。



た。議案として  
第一号議案 平成三十一年度事業報告並びに収入・支出決算について、第二号議案 会長指名理事の承認及び監事の選出について、第三号議案 平成三十一年度事業計画(案)並びに収入・支出予算(案)についての議案が審議され承認されました。

また、報告事項として経理規定の制定について報告がありました。その後、新規加盟園が紹介されました。



総会終了後、引き続き保育所長研修会が開催されました。講師にはNPO法人 保育の安全研究・教育センター代表理事の掛札逸美先生をお招きして「保育の価値とリスク 深刻事故予防と保護者コミュニケーションにおける施設長の役割」というテーマで一時間半にわたりご講演いただきました。

リスクとは、目的に対する不確かさの影響であり、保育や教育、子育ての世界では、リスクが良い方向へ乖離することも想定している。そのため保育環境をどこまで提供しているかが、園や法人の価値を決める。

価値とリスクは、保護者に伝えることが必要であり、保護者には「子どもはケガをして育つもの」を認識してもらうことがとても重要である。

保育園を守ること  
は、子どもの育ちを保障することであり、また、職員を守る事でもある。

園の価値として、これからの保育に必要なものは何かを再認識させていただいた講演でした。